

## 自己評価結果（平成 28 年度）

洗足学園中学校・洗足学園高等学校

### 1. 学校教育目標

- |   |
|---|
| ①主体的行動ができる女性<br>～from Knowledge to Wisdom～<br>②グローバル社会で活躍できる女性<br>③社会に貢献できる女性 |
|---|

### 2. 本年度に重点的に取り組む目標・計画

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・自らを律し、他と協調し、他を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を持った生徒を育てる。</li><li>・6年間を大人になるための準備期間として、責任ある市民として自己決定・自己判断ができるよう論理的に突き詰めて思考する力を育てる。</li><li>・主体性を持って行動できる生徒を育て、学習面・生活面でも他律から自律へ切り替える。</li></ul> |
|--|

### 3. 評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
学力形成 学習指導 進路指導	<ul style="list-style-type: none"><li>・「学ぶとは覚えることではなく考えること」をテーマに、教科指導形式を「講義形式」から「対話形式」へと変革に取り組んだ。</li><li>・グローバル社会への対応の一つとして、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの強化のため全学年でネイティブの授業を実施した。</li><li>・教科横断型授業として、理科と数学、化学と家庭科など、教科の枠を超えた授業を実施した。</li></ul>
人間形成 生活指導 各学年の取組 自治活動 学外活動	<p>グローバル社会で必要とされるスキルを育むことを目的として、以下の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各学年の取組 中学 1 年 国際理解教育、HR 研修、中学 2 年 ボランティア、キャリアプログラム、グローバル・イングリッシュ・キャンプ、 中学 3 年 研究論文、修学旅行、高校 1 年 『進路から進学へ』、 HR 研修、高校 2 年 『学校のリーダー』、修学旅行、と精神的な発達段階に合わせて活動した。</li><li>・生徒の自治活動 生徒会・委員会・クラブ・体育祭・学園祭・合唱コンクールなど 生徒が主体となって運営した。</li><li>・学外活動（他流試合） 国内では、「2017 国際哲学オリンピック選考会」、「プラチナ人材</li></ul>

	<p>育成塾@会津」など、国外では「クロアチア・ユースサミット」(かわさき国際友好使節)の他、「日中青年会議」(香港)など数多くの学外での活動に参加した。</p>
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会を定期的実施し、生徒の状況をより良く知ってもらい、学校の方針についての理解も深めてもらった。</li> <li>・学年通信を月1回程度発行し、連絡事項の徹底、生徒自らの言葉で語る行事報告など学校と家庭の結びつきを強めた。</li> <li>・ホームページにて、一般の方々にも学校のことを理解してもらえよう学習面・生活面について学校の紹介を行い、常に最新の情報をトピックスとして発信している。</li> </ul>
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校管理システムにより生徒の登下校の状況を把握し生徒の安全を図った。</li> <li>・災害時対応として年2回の避難訓練実施の他、東京・神奈川の私学による「避難校ネットワーク」にて登下校時の災害への対応をより充実したものとした。</li> <li>・年3回の施設点検実施により施設の保守を行い、安全管理を行うとともに快適な環境整備を実施した。</li> </ul>
研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任教員4名に対し校長・管理職・校務主任・学年主任・担任を講師として年間にわたり新任教員研修を実施した。また、新任教員4名は日本私学教育研究所主催の初任者研修会にも参加した。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬国連会議国際大会として日本での開催が2回目となる、環太平洋国際模擬国連会議(PRIMUN)を実施。「持続可能な開発目標」のテーマの下、日本、アメリカ、中国、台湾の高校生173人が参加し、活発な議論を行った。</li> <li>・中学入試出願受付を窓口対応からWeb受付へ全面移行した。</li> </ul>

#### 4. 総合的な評価結果

現在中学3年生から新しい大学入試制度が導入される予定であるが、「学力本位」から「人物本位」の入試になることが予想される。こうした入試制度の転換に対応すべく平成27年度から始めた教育イノベーション(65分授業、対話型授業など)を更に進めた。また、ICT教育の更なる充実として、全教室内にWiFi環境を整備し、電子黒板・iPad等を用いた対話形式、グループディスカッション等によりアクティブラーニングを実施した。また、人間形成の面でも震災ボランティアは継続的に実施しており、生徒会主催のチャリティ演奏会、洗足祭での震災被災地の写真展・東北物産展など、生徒の主体的な活動が充実してきた。